

おしらせ



来年、成人式を  
迎える皆さんへ

町教委では成人式の当日、新成人の皆さんに「フォトで見える20年」というアルバムを配布します。

このアルバムは、皆さんが生まれてから成人するまでの世の中の動きや町内の出来事を写真でつづるもので、できるだけ皆さんの身近な写真を掲載したいと思えます。

そこで、皆さんの手持ちの写真を集めます。赤ちゃんの時の写真や保育園、小中学校時代の運動会や入学式の写真など思い出に残っている写真がありましたら、どしどしお貸しください。

なお、お貸しいただく写真には「〇〇年、△△小学校運動会」とか「〇〇年、××少年団、郡大会優勝」のように簡単な説明をつけてください。また、写真は成人式当日、会場でお返ししますので、裏に氏名を書いてください。

締切日 11月10日  
提出先 教育委員会生涯学習課

みんなで盛り上げよう

さわやかスポーツ祭

期日 10月31日(日)  
開会式 午前8時30分から  
場所 旭ヶ丘陸上競技場

【種目と会場】

- ◆ミニバレーボール  
武道体育館、勤労者体育センター、町体育館、三股小、三股西小
- ◆ゲートボール  
旭ヶ丘陸上競技場
- ◆グラウンドゴルフ  
河川敷公園(三股橋上流)

税を知る週間……

和泉雅子さんが講演

日時 11月17日(水)午後2時  
場所 都城市民会館  
講師 和泉雅子(女優)  
演題 「笑ってよ、北極点」

※無料ですが、入場整理券が必要です。券は税務課、都城商工会議所にあります。

今月の納税

県町民税 3期  
保険税 3期

納税は口座振替  
が便利です。

あなたも里親に

保護者のいない児童やいろいろな事情で保護者が監護できない児童を一時的に、または継続的に自分の家に預かって養育する人を里親といいます。児童の養育に理解と熱意、豊かな愛情をお持ちの方ならどんなでも里親になれます。

ある期間、家庭で生活できなくなった児童を親が引き取れるようになるまでの間、育ててくださる方  
養子縁組を目的に児童を育ててくださる方  
※詳しいことは、宮崎県都城児童相談所へ(☎22-4294)

愛の献血

次のおりご協力いただきました。ありがとうございます。

- 7月21日 旭ヶ丘ソフトボール場 成分:24名
- 7月26日 ソフトボール(壮年の部) 成分:24名
- 7月26日 夢池多目的広場、殿岡農村広場 成分:24名
- 10月1日 イトウソーイング 成分:13名
- 10月1日 (南)福永樹脂工業 成分:39名
- 10月1日 大悟病院 成分:46名
- 10月4日 都城東高校 成分:340名
- 10月4日 役場(来庁者含む) 成分:39名

農業の魅力

フォトコンテスト

募集内容

若夫婦家族にスポットを当て、自然とともに働く喜び、収穫の喜びを表現したもの(例、子供を交えた若夫婦の収穫風景)

作品はサービサイズのカラ写真とネガ。住所、氏名、年齢、職業、電話番号および写真のタイトル、説明、撮影場所などを明記。応募点数に制限なし。  
募集期間  
秋冬編 10月1日～6年12月28日  
春夏編 6年4月1日～6月30日

愛のご寄付

三股町社会福祉協議会では、忌明け寄付を次のとおりいただきました。

故人のご冥福をお祈りいたしますとともに、社会福祉発展のために有意義に利用させていただきました。

誠にありがとうございました。

平成5年9月1日から平成5年9月30日まで

寄付者	続柄	故人名	地区	金額
原口 マサ	夫	一男	70	3万円
立山 三保	夫	重全	79	10万円
植原 宣子	夫	敏夫	79	10万円
榎田 ミツ	夫	秀人	83	1万円
正ヶ峯 征男	義兄	竹之内 武則	67	3万円
王利 クミ	夫	祐成	77	5万円
荒武 隆康	妻	京子	55	5万円

三股町の人口

平成5年10月1日現在			
男	10,547人	出生	20人
女	11,645人	死亡	16人
計	22,192人	転入	80人
前月比	+39人	転出	45人
世帯数	7,487戸	(+18戸)	

平成5年  
10月号



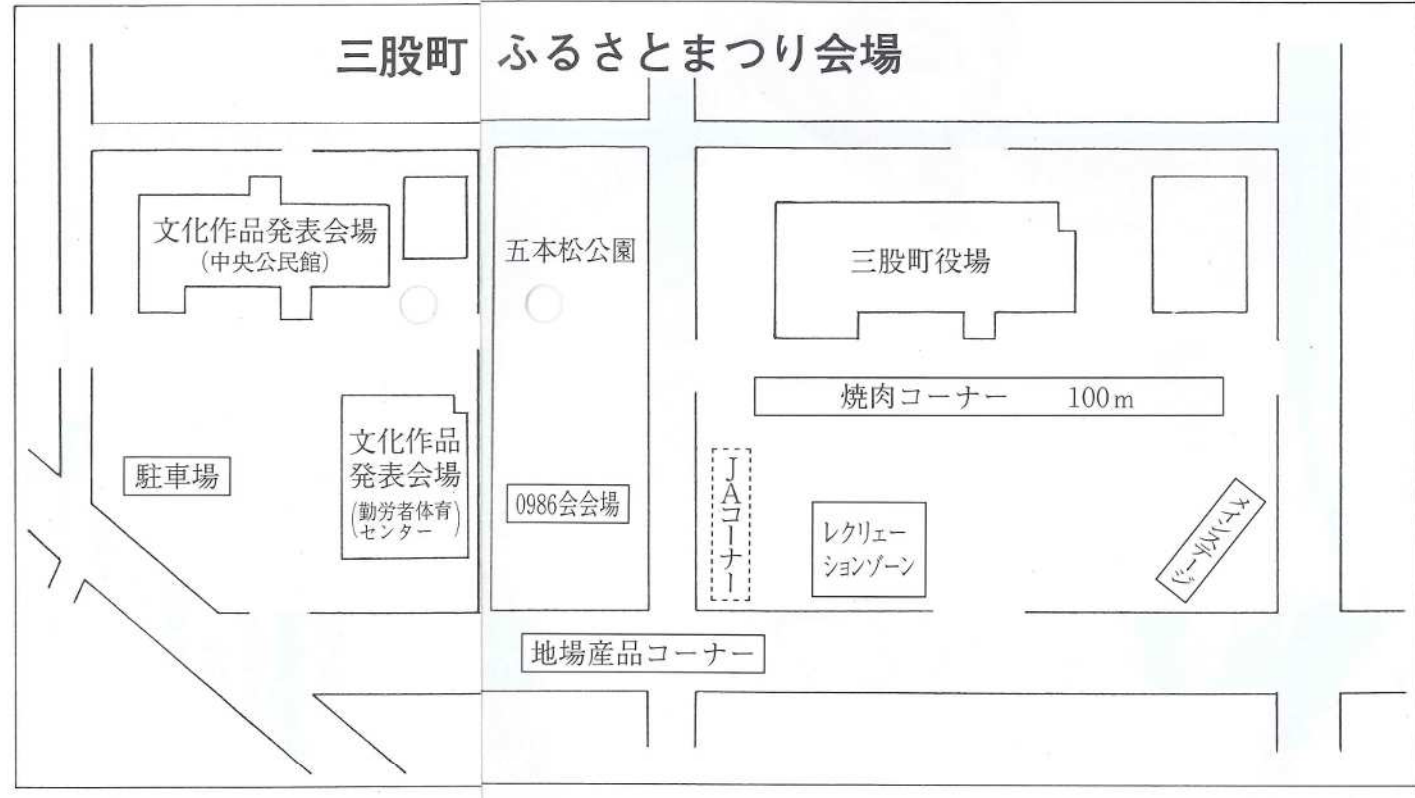
鬼面や般若、翁などの面づくりに取り組む山元甚平さん(74歳、高畑)。これまでに彫った面は170を超える。

# 第3回 ふるさとまつり

期日 11月13日(土)・14日(日)

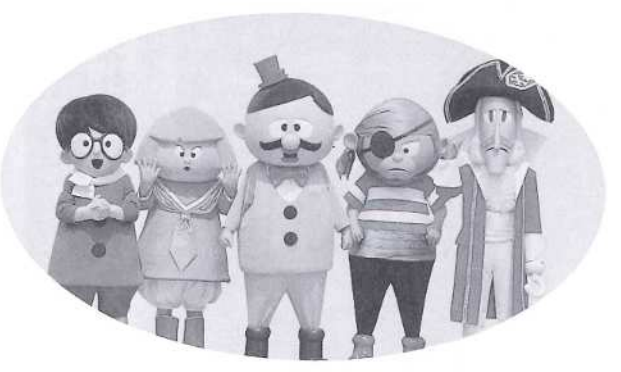
楽しい企画がいっぱい

ふるさとまつりが来る11月13日、14日の2日間、役場駐車場を中心会場に開かれます。  
 まつりは、豊かで住みよい活力ある町づくりをめざして行うもの。3年目を迎えた今回は、一般から公募した企画運営委員がまつりの企画運営を担当し、ユニークな企画がいっぱい。  
 中でも都城牛一頭分を2千人で食べるサイコロステーキの大試食会や都城盆地内の特色ある鍋を集めた「ふるさと自慢鍋」町民かくし芸大会、カラオケ歌合戦など人気を集めそう。ぜひ、家族そろって来場ください。



14日

ひょっこりひょうたん島



NHKの教育テレビで再放送されている人気人形劇「ひょっこりひょうたん島」が、14日の午前と午後の2回登場する。ドン・ガバチョやハカセがステージで大活躍し、子供たちを夢の世界に誘う。

郷土芸能

棒踊りや俵踊りなど、町内に踊り継がれている迫力のある郷土芸能が披露される。また、樺山スポーツ少年団も棒踊りを特別披露。

## 盆地太鼓の競演

都城市から広原太鼓とJCT太鼓、みやこんじょ娘太鼓、金御太鼓、南州太鼓の5つ、鹿児島県財部町から龍虎太鼓が参加し、ステージ前で迫力ある盆地太鼓の競演が繰り広げられる。

## カラオケ歌合戦

司会に武中はじめさん、ゲスト歌手に古城さとみさんを招いて、カラオケ歌合戦が行われる。カラオケ大好き人間、歌に自信のある人が出場し、ふるさとまつりチャリピオンをめざす。

## 町民かくし芸大会

職場の忘年会や結婚披露宴などに欠かせないかくし芸。町内の芸達者が次々に登場し、歌や踊り、マジックなど得意の芸で会場を盛り上げる。

## お楽しみ抽選会

まつりのフィナーレを飾る抽選会は午後4時からの予定。豪華商品など約100本が当たる。



ゲスト歌手の 古城さとみさん

昭和44年熊本県生まれ。平成3年「男の浪花節」でデビュー。4年、NHK新人歌謡コンテスト入賞、春日八郎新人奨励賞受賞。曲は「夫婦灯り」「男の炎歌」「娘だからと」などがある。

メインステージのプログラム

	13日(土)	14日(日)
10:00		ひょっこりひょうたん島 (45分) キャラクターショー
11:00		郷土芸能 (60分)
12:00		太鼓の競演 (60分)
12:30	パレード	カラオケ歌合戦(60分)
13:00		町民かくし芸大会 (60分)
14:00	オープニングセレモニー (20分)	ひょっこりひょうたん島 (45分) キャラクターショー
14:30	中学校吹奏楽 (30分)	お楽しみ抽選会 (45分)
15:00	文化協会の舞踊 (60分)	
16:00	ぬいぐるみ楽団 ZOOオンステージ (45分)	
17:00		

13日

パレード

12:30 出発

オープニングに先立ち、12時30分から小学校鼓笛隊や緑の少年団、保育園や幼稚園、婦人会、老人クラブ、各種団体が手作りのみこしや仮装など趣向を凝らした装いで約1・1キロをパレードする。

## ぬいぐるみ楽団 ZOOオンステージ

コアラやパンダ、トラなど子供たちに人気のある動物のぬいぐるみを着た楽団が、本格的なバンド演奏と童謡やアニメソング、ヒット歌謡曲を披露する。小さいお子さんはもちろん、大人も一緒に楽しめる。

## サイコロステーキ 大試食会 (無料)

メイン会場に長さ100メートルの焼肉台が設置され、無料で和牛のサイコロステーキが食べられる。肉は最上級の都城牛一頭分で、一人一串に限定。2千人分が準備される。14日11時から。

## JAコーナー

町内の農産物や農産加工品が即売されるほか、SAPコーナーなどが設けられる。

## 地場産品販売コーナー

商工会の会員が路上100メートルで地場産品の販売をしたり、PTAや社会福祉協議会などがバザーなどの催しを行う。また、町内で操業している誘致企業が製品を展示・販売する。

## 文化作品発表コーナー

書道や絵画、生け花、手作り工芸品など町民の力作が、勤労者体育センターと中央公民館の2個所で展示される。

## 都城盆地の「ふるさと自慢鍋」

マルクヤの 0986会コーナー  
 14日の五本松公園は0986会の独壇場。綱引き大会やバトルライブコンサート、ドッジボールなどのほか、風力発電やモンゴルの移動式住居「ゲル」の公開など多彩な行事が行われる。

また、都城盆地内の特色のある「ふるさと自慢鍋」も出る。鍋の種類は、ぶた汁(三股町)、

そばだご汁(山之口町)、観音池ポーク鍋(高城町)、四方面鍋(山田町)、カモ汁(都城市)、末吉メセナ鍋(末吉町)、財部しゃらスペシャルフルーツインドカレー(財部町)の7つ。益金は社会福祉協議会に寄付。



# 第5回町議会定例会

第5回町議会定例会（9月定例会）は9月13日招集され、24日までの12日間にわたって開かれました。

定例会には、前年度の公営企業会計決算や本年度の一般会計補正予算案、条例案など10議案が提案され、それぞれ常任委員会で慎重審議された後、最終日の本会議で原案どおり可決されました。

また人事案2件が追加提案され、監査委員に小牧真博さん（67）を選任、教育委員には榎田秀生さん（69）が再任されました。

## 成立した主な議案

### 一般会計補正予算（第3号）

59億713万4千円に歳入歳出それぞれ5億3千400万8千円を追加し、歳入歳出の総額が64億4千114万2千円になりました。

補正の主なものは、山王原早水線の雨水対策事業費5千万円、早馬公園駐車場整備工事費など2千460万円、下飯屋農地などの現年度災害復旧事業費4千500万円、植木18号線などの工事費2千万円、長田峡花の公園整備事業費302万5千円、シルバー人材センター運営事業補助金1千330万円などです。

### 表彰条例の全部改正

町では、昭和54年に表彰条例を制定し、町政の振興や町民の福祉増進、産業文化の進展などに功労のあった人に功労賞、町民の模範となる善行をした人に善行賞を贈っています。今回、条例の全部改正が行われ、新たに行政特別功労賞が設けられるとともに、善行賞の対象となる寄付金の額が50万円（団体にあつては100万円）に引き上げられました。また、体育文化関係が表彰条例から

削除され、文化賞規則に規定されました。

### 町民栄誉賞表彰条例

オリンピックなどの国際舞台で華々しい活躍をしたり、各分野でさまざまな活躍をし町民に夢と希望を与えた人に、その栄誉をたたえるため町民栄誉賞が贈られることになりました。

### 上水道第6次拡張事業

平成6年度から14年度までの9ヶ年継続事業として、総工費15億円で上水道第6次拡張事業に取り組みることになりました。

### 監査委員に

小牧真博さん（67）



監査委員を3期12年間務められた永井宗高さん（72）の勇退に伴い、その後任に小牧真博さん（山王原）が選任されました。小牧さんは元県職員。企画調整部公社管理監や県立病院課長、県立宮崎病院事務局長などを歴任され、昭和58年環境保健部次長を最後に県を退職されています。

## ふるさとへの便り

稲葉 吟子（51）

（旧姓：持原、梶山出身）



「三股町の皆さん、こんにちは」  
今月は、埼玉県の蕨市よりお便りします。  
私が今一番幸せに思っていること、それは、健康であるということです。子供の頃過ごした大自然の恵みが大いに影響しているのだと、ふるさとに感謝の気持ちでいっぱいです。それは、澄んだ空気、新鮮な食べ物、そして人情味あふれる人々、そんな所で育ったからだだと思います。  
父の転勤で小学校6年の春、梶山小に転校、高台にある2階建ての木造校舎がとても印象的でした。近くの河原からせせせと石運びをし、校庭に池を造ったり、四

季折々の花を植えて育てたり、みんなで何かを造る喜びを学びました。  
中学では3年間バレー部に所属し、放課後運動場にネットを張り、暗くなるまで練習に熱中、数々の試合を経験し勝負の厳しさを知り練習に燃えたのを覚えています。バレーを通して体力と精神力を養いました。  
高校時代は、バスの運転手さんに出会い、人の優しさを知りました。始発バスのいつもの運転手さん。「誰々さんは、まだ来んね」といって待っていてくれたり、朝寝坊してかけ出して来る生徒のために途中でバスを止めてくださったり、本当に思いやりのある運転手さんでした。  
ほのぼのとした気分で昔を振り返ると、なつかしい友の顔や先生の顔、そして、あの雄大な三股の景色が次々に浮かんできます。  
色々な思い出を胸に、32年前に上京し、銀行員として社会人の第一歩を踏み出しました。結婚後は、この地に住みついて、20年前に始めた珠算教室で子供たちにそろばんを教えています。父が教員だったせいか、私も教えることが大好

次は、安良岡桃子さん（旧姓：桑畑、山王原出身）にリレーします。



### グレンのひとり言

## 三股をマウンテンバイクで

今年の4月から延岡市に来て、すぐマウンテンバイクのクラブに入ってマウンテンバイクでいろいろな所に行き、日本の自然の美しさがわかりました。延岡の方は、こびら山は眺めのいい山です。祝子川もきれいで静かな所。御手洗溪谷を登った時はダートの道がとてきつかったけど、自然がとて美しく感動しました。  
三股も自然が多くてきれいな

所きつとあると思います。僕はひまがれば、マウンテンバイクでいろいろな所を探しに行っています。この前、上米公園の裏側のダートの道を登ってみたくて、虫（あぶなど）が非常に多くて逃げ出してしまいました。宮村の方の林道やデコボコな道に乗ってみたが、台風のため道がデコボコ過ぎて全面通行止になっていました。でもミスばかりじゃないんです。この前、第7地区の青年団の二人と一緒に長田の方へサイクリ



阿蘇の大会で 2番目がグレンさん

### グレンの「ふれあい広場」

国際交流員のグレン・アンダーソンさんと交流を深めていただくため、町教委では毎月2回、グレンの「ふれあい広場」を開催します。

11月の予定

★アメリカのスポーツ オートモートフリスビー

日時 11月7日（日）  
午前9時～11時

場所 旭ヶ丘陸上競技場

※雨 勤労者体育センター参加費 一人50円（保険料）

★グレンが見た日本の不思議

日時 11月9日（火）  
午後7時～9時

場所 中央公民館第1研修室

▽申込みは11月5日（金）までに電話で。教育委員会生涯学習課

☎52-11111

今後、楽しい海外旅行の法や親子で参加できるアメリカのスポーツ、クリスマスなどを計画しています。あなたも積極的に参加し、国際交流を深めてみませんか。

## あなたの声を町政に

福永町長と語ろう  
ふれあい行政  
モーニング・フォーラム

あなたも「あすの三股づくり」に参加しませんか。  
今後のまちづくりの進め方や三股町の将来像など、皆さんのユニークなアイデア、建設的なご提言をお聞かせください。  
フォーラムには、どなたでも参加できます。大勢の方のご来場をお待ちしています。気軽な服装でどうぞ。

- 1、日時 11月20日（土） 午前7時～8時  
2、場所 役場4階会議室

毎月20日に開催  
フォーラムにいっど!!

- 前回のフォーラムでは次のようなご意見、ご提言がありました。
- 昭和10年に行われた陸軍大演習の記念碑が旭ヶ丘にあるので保存して欲しい。地区の森の清掃も検討すべきだ。
  - 自治公民館制度になったが、大きな行事は地区公民館単位で取り組んだ方がよいのではないかと。
  - フォーラムの内容を広報で知らせてもらいたい。
  - 橋や川を中心にしたイベントを考えてみては。
  - 補助基準に満たない台風災害が多いが、町で資材の補助などできないか。

# あがな 贖いの日々

「逃げたぞ」という叫び声を後に、私は走っていました。

その日、私は、バイト先の主人の友人がスナックを開店するというので、そのパーティーに呼ばれ、そこで意識が薄れる程飲み、その後、また、違う店に行き飲みました。

その状態で、250ccのオートバイに乗っていました。

その道は、いつも通り慣れた道であったのですが、その日に限り道路工事が行われており、そこで整理をしていた人をはねてしまったのです。

「逃げたぞ」という声を後に、私は走っていました。頭の中は真っ白でした。

部屋に着き、友人に電話をしました。「今、事故を起こしたのだけど、どのような事態になったのか分からないので調べてほしい。」と、だいたいの場所を教えて頼みました。結果は、どうやら人身事故のようだ、ということでした。そこまで確かめたにもかかわらず、まだその事を認めることが出来ず、まるで悪い夢でも見ているような気持ちのままでした。

## 「逃げたぞ」の声を背に走り去った私 学生 22歳

決心がつかぬまま、父に電話をしました。父は迷うことなく「警察に電話しなさい。」と言いました。その一言で、110番をしました。

その場で、手錠がはめられました。それは、冷たく重いものでした。命というものは、掛け替えのないものであり、それは、亡くした

ら最後、二度と再び取り戻すことの出来ないものであります。そのことの重大さを、今自身をもつて思い知らされました。人の命を奪ってしまった罪、それは、たとえ交通事故であっても、私のように、無免許、飲酒、そして引き逃げまでもしている者であれば、殺人と言っても過言ではありません。

そんな自分が、とてもみじめで情けなく、被害者の方、そしてまた、その遺族の方々や自分の両親に申し訳なく思っています。

片方では、早く世間から自分の身を隠し、刑務所に逃げ込みたい気持ちでいっぱいでした。それは、多少なりとも、刑務所に入れば、まるで、自分の犯した罪が消えてしまうかのように考えていたことが、無きにもあらずでした。しかし、その考えは間違っていました。当然と言えども当然です。罪を償うところが刑務所であって、いたずらに時を過ごすだけでは、何も生まれてはきません。なぜ、このような事故を起こしたのか、それは、自分の性格のどこに問題があったのか、倫理観、人生観に間違った考えはなかったか、など自己を見つめ、矯正するところだったのです。

そしてまた、被害者の方のご冥福を祈り続けることにより、自分の犯した罪が、初めて許されるのだ。

だということが、分かり始めました。やがて、刑期も終了し、自由の身となりますが、それは、自分の罪が許されたことにはならず、逆に始まるのだと私は思います。それは、責任という大きな荷を背負って生きていくことへの始まりです。

この市原で教えて頂いた、そして、学んだすべてを生かし、また被害者の方のご冥福を祈り続け、生きていけるよう頑張っていくと思います。

(東京交通安全協会発行  
「贖いの日々」第27集より)

## 1年間、死亡事故「0」 町に県警本部長から祝辞

交通死亡事故「0」の日が1年間続いたことから10月1日、本町に県警本部長の祝辞が届きました。

町内では、昭和60年から平成4年までの8年間に交通事故で16人(年平均2人)が亡くなっていますが、昨年9月30日以来、丸1年間死亡事故は発生していません。

当日は、県警本部の厚地久雄交通企画課長が役場を訪れ、「町をあげてのご努力に心から敬意を表します」と本部長の祝辞を福永町長に手渡ししました。これを受けて町長



だより (第82号)

### 読書感想文・感想画の募集

町内小中学生から

町教育委員会では、読書週間にちなんで例年どおり感想文・感想画の募集を行っています。

夏休みはうっとおしい長雨のうへ、何度か台風が吹き荒れて、とても読書どころの気分にはなれなかつたと思います。

今、さわやかな読書の秋、灯火親しむ秋となりました。

読書は、知識を増し豊かな心が育ちます。国も読書の重要さを認めて力を注ぐと聞いています。青少年の犯罪者の多くは、価値ある本の読書を怠っているからだという人さいます。

募集については、町内の学校にお願いしてありますので、いずれ先生からお知らせがあると思います。秋の夜長を親子ともども読書に親しみふるって応募されるよう期待しています。

応募者全員には参加賞があります。審査のうえ、各学年最優秀一名、優秀二名、佳作若干名を選びます。なお、最優秀、優秀は、作品集(さつき第20号)に掲載します。

### 長期休館のお知らせ

蔵書の点検整理のため次の期間休館します。

11月15日(月)～12月1日(水)

この期間中に返本に来られる方は返本ポストを利用してください。

### 返本ポスト

まだ、ご存じない方がいますので再度お知らせします。

開館時間以外(午後5時～午前9時)及び休館日に返本のため来館した方は、返本ポスト(場所は第一ドアと第二ドアの間)を設置してありますので、借りた人の名前を書いて本または紙しばいにはさんで入れてください。特に県立図書館の本と紙しばいは忘れぬように。

### 新刊図書のお知らせ

中央公民館では、次の図書を手に入れました。ぜひご利用ください。

#### (一般向)

- |            |       |
|------------|-------|
| 隠花平原 上・下   | 松本 清張 |
| 午後の自画像     | 五木 寛之 |
| 散文散歩       | 大貫 妙子 |
| 台所のおと      | 幸田 文  |
| 返事はいらぬ     | 宮部みゆき |
| 木曜島の夜会     | 司馬遼太郎 |
| 医者者のホネネ    | 柴田 二郎 |
| 対話する生と死    | 河合 隼雄 |
| 駆ける少年      | 鷲沢 萌  |
| 国際結婚       | 石川 幸子 |
| 危機の政治学     | 佐々 淳行 |
| もう一人の本田宗一郎 | 原田 一男 |
|            | 加賀 乙彦 |

#### (小・中学生向)

- |                 |           |
|-----------------|-----------|
| アメリカにも忠犬ハチ公がいた  | 中山 光義     |
| 雪男を見た十七人の証言     | 中山 光義     |
| 雪のシベリア脱走3万キロ    | 中山 光義     |
| おそろしいバツタの大襲来    | 中山 光義     |
| UFOのなぞをさぐる      | 中山 光義     |
| 四ちようめようかいさわぎ    | 木暮 正夫     |
| 五ちようめのゆうれいマンション | 木暮 正夫     |
| モモ              | ミヒヤエル・エンダ |
| おまつりにやってきた女の子   | 町田紀久子     |
| おばけのがっこう        | 吉田比砂子     |
| シヨベルカーのどんちきさん   | 堀内 純子     |

#### (幼児向)

- |                |       |
|----------------|-------|
| ぞうのはなしはよしてくれ   | 武井 直紀 |
| さびしいおとうさん      | 那須 正幹 |
| そのとき王さまは       | おぼまこと |
| くまぞうさあーん       | 高橋 透  |
| どろんこーん         | 小出 保子 |
| こぶたくんキスキスキ     | 渡辺 有一 |
| かえるちゃんのおつきみ    | 渡辺 有一 |
| ベコタンじまはきょうもはれ  | 関屋 敏隆 |
| だいかいじゅうゾロリ     | 末崎 茂樹 |
| 大だこマストン海底のたたかい | 西川おさむ |
| もりのしんりようじよ     | 篠崎 三朗 |

### 詩の広場 子どもの詩

#### 母の詩

三股西小四年

木幡 ゆう

お姉ちゃんとおんがいた  
お姉ちゃんが一人部屋がいつて  
はらかいて 私に八つあたりした

そして 部屋わたしの戸を

ぎゅーとおして  
だれが来ても  
入れないようにした  
お母さんに言っ

力づくで反対側からおしても  
まともに開かないから  
お父さんにおこつてもらった  
ドアが開いた

そしたらお姉ちゃんは泣いていた  
ザマミロ!  
サマミロ!

※おやおや、おかあさん、おと

うさんまで巻き込んで一そう  
どう。よんだ時、思わず笑つ  
ちやうつた。でも、どの家でも  
ありそうなんかな。

お姉ちゃんにこの詩を見せた  
らクックツツ笑ってたよ。  
ほんとうは仲のよい姉と妹  
なーんだ。ザマミロ!と思つ

たけど後でお姉ちゃんちよつ  
びりかわいそうと思つたん  
じゃない?

### 11月の休館日 (中央公民館図書室)

週	日	月	火	水	木	金	土
①		1	2	3			
②		8	9				
③		15	16	17	18	19	20
④		22	23	24	25	26	27
⑤		28	29	30			

数字は休館日。2日・1日は図書整理日、9日は午後1時から開きます。16-30日は蔵書整理のため長期休館します。



## ゲートボールで

### 交通ルール学ば

第9回郡交通安全ゲートボール大会は、9月30日午前9時から小雨の降り続ける中、勝岡の殿岡農村広場で開かれました。

大会は、高齢者の交通安全意識を高めるために行ったもの。普通のゲートボールと違ってコート内に交通法規を守るよう、横断歩道や安全地帯などが設けられています。

大会には、各町の予選を勝ち抜いたそれぞれ3チーム、計15チームが参加。横断歩道では手を挙げて左右を確認して渡るなど、交通ルールを守りながら熱戦を繰り広げました。結果は次のとおり。



優勝 香禪寺B(高城町)  
準優勝 上新(三股町)  
3位 三原(三股町)  
追間(高崎町)

## 「今こそ、農業革命を」

### 振興大会で兼坂さん講演



千葉県印旛沼土地改良区理事で世界農業視察旅行会会長の兼坂祐さんを講師に招いて、第1回町農業振興大会が9月28日午後1時半

から町体育館で開かれ、農業関係者など300名余りが参加しました。大会は農業者みずからが創意工夫し、農業の国際化に対応できる生産性の高い農業経営をめざそうと開いたもの。大会では、轟木宮農集団の機械施設利用部会長の小牧利美さんと町機械利用組合長の

## 老人ホームで理容奉仕

(理容組合)

頭をさっぱりし、すがすがしい気分を敬老の日を迎えてもらうとうと、三股理容組合(山下新六組合長、組合員23名)は9月14日、老人ホーム清流園で入居者に理容サービスをしました。

理容奉仕は毎年、敬老の日の前日と正月前の年2回実施しているもので、同園の開設以来、30年間も続けられています。

この日の奉仕活動には組合員15名が参加。午前8時から10時までの2時間にわたって、入園者の頭を散髪したり、ひげそりしました。



木下行春さんが事例発表した後、講演が行われました。

兼坂さんは、飛行機によるじかまきなど欧米型の稲作を実践し、全国の農業関係者の注目を集めている人。この日の講演では「日本の稲作は欧米に比べ30倍もの手間がかかっている。しかも、狭いたんぼに高価な機械を導入し、コストがかかり過ぎる。欧米の農業に對抗していくためには、10ヘクタール程度のスーパー圃場をつくり、飛行機で種をまきまくるようにならなければならない。今こそ、

## 「すくすく育て」

### キジ80羽を放す



県はさきほど、長原の丘や高才原など町内8か所にキジを放しました。

キジの放鳥は、優良種の保護繁殖を目的に毎年行っているもの。今回放されたのは生後1年程度の幼鳥80羽。

当日は、農林振興局職員や鳥獣保護員、猟友会会員など6名が参加。「すくすく育て」と願いを込めてカゴのふたを開けると、キジは野山めがけて勢いよく飛び立って行きました。

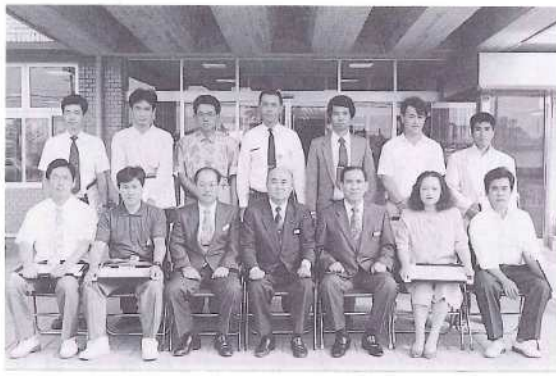
## 長い間、ご苦労様!

### 退職消防団員に感謝状

5年から10年もの長い間、消防活動に献身し、今春消防団を退職された11名に、町はこのほど感謝状と退職報奨金を贈りました。

がなければ務まらない職務。今回退職した11名も、生業を持ちながら火災消火活動や台風時の警戒活動、行方不明者の捜索などに長年にわたって活躍し、住民の生命財産の保全に尽力しました。退職者は次のとおり(敬称略)。

木佐貫辰生、吉川勇二郎、竹内雄二、栗野信秋、中村勇、宮越信一、中村稔、大坪博文、西村賢次、畑中利美、橋口浩



## 介護って、本当に大変!!

### 特老「三光苑」で実務研修

三股西小の家庭教育学級(森崎純一学級長、45名)は、10月6日午前10時から特別養護老人ホーム三光苑で介護の実務研修を行いました。

高齢化社会の一員として介護への認識を深めるのがねらい。同学級では、親としての資質を高めようと、これまでも食品添加物の実習や親子工作教室など定期的に勉強会を開いています。

今回の研修会には学級員11名が参加。まず苑内の施設や設備を見学した後、約1時間半にわたって職員から介護用品の種類や購入方法について説明を受けたり、実際にモデルを使っておむつや寝巻き



の着せ替え、床ずれの予防などを実習。最後は、入苑者の食事状況も見学し、介護現場の厳しさを再認識しました。



## 世界ベテランズで健闘

### 本町から出場の31人

第10回世界ベテランズ陸上競技選手権大会が10月7日から17日までの11日間、県総合運動公園を

中心会場に開かれ、世界78カ国地域から1万2千人が参加しました。大会はアジア地域としては初めて開かれたもの。本町からも30代1人、40歳代25人、50歳代6人、60歳代3人の計35人が、13種目に挑戦。かつての世界の強豪が数多く出場



している中、日頃の練習の成果を発揮し健闘しました。

## 道路愛護で

### 全国表彰(中野集落)

道路愛護推進団体として、中野集落(園田重春支部長、31戸)がこのほど日本道路協会から表彰されました。

同集落では昭和40年頃から毎年4月と8月、12月の年3回、集落総出で周辺道路約3キロのやぶ払

いや側溝の泥上げをしており、長年の道路美化活動が評価されたもの。これまでも、県の道路利用者協議会や道路愛護推進協議会の表彰を受けています。

表彰式は役場で行われ、町長から賞状と記念品が伝達されました。出席した集落役員は「受賞を機に、今後も集落みんなで力を合わせ、積極的に道路の清掃に取り組んでいきたい。」と話していました。